

カテキズム (英語 Catechism ギリシャ語 **κατηχησμός**—カテーキスモス)

キリスト教の教理指導書のことので信仰問答または教理問答と訳され、カトリックでは、かつて「公教要理」と訳されました。ギリシャ語の原義は「下に向かって鳴る」、すなわち、「(口頭)で教える、知らせる」を意味します。

もともとは洗礼志願者に基礎教理を教えるため、問答形式を取ったことに端を発しますが、問答形式を取らないものもあります。

代表的なものにはルターの「大教理問答」や「小教理問答」、カルヴァンの「信仰の手引」や「ジュネーブ信仰問答」、改革派の「ハイデルベルク信仰問答」、長老派の「ウェストミンスター大教理問答」や「小教理問答」などがあり、日本基督教団では「日本基督教団信仰問答」があります。カトリック教会では「公教要理」、「カトリック要理」、「カトリック教会のカテキズム」があり、その他の優れたカテキズムが存在します。

(参照文献：[Wikipedia](#)：[「カテキズム」](#) 最終更新 2015年8月17日

[Wikipedia](#): [“Catechism”](#) last modified on 21 September 2015)